



No.3273

第3591回例会
平成30年10月10日DISTRICT 2500
OBIHIRO
ROTARY CLUB

方針

Free Mind Rotary
ロータリーを拡めよう

会長 和田賢二



2018-19年度国際ロータリーのテーマ インスピレーションになろう

Free Mind Rotary

■会長報告



和田 賢二 会長

今月は経済と地域社会の発展月間・米山月間です。経済と地域社会の発展月間という意味では、先週10月4日木曜日に、地区補助金を使って行う社会奉仕委員会の共同事業に向けて、網走西ロータリークラブの例会に出席して参りました。

本来であれば、ひと月前の9月6日北海道胆振東部地震がおきました日に行く予定でしたが、先方の例会場も停電で止む無く中止になってしまいました。今回再度、網走西ロータリークラブさんが予定を入れて下さいました。

折角の再チャレンジではありましたが、先月は私を始め、外崎幹事、小水理事、野村文吾委員長の4名でお伺いする予定でしたが、残念なことに今回は外崎幹事、野村委員長のスケジュールが合わず、小水理事と二人で行くことになりました。

網走西ロータリークラブさんと当クラブと初めての共同事業です。で最初にバナー交換を致しました。

プログラムでの事業説明につきまして、小水理事は大変よく事業を周知され、弁舌爽やかに説明してくれまして、素晴らしいプレゼンテーションでありました。

当クラブ会員への説明は、来週の例会で担当の野村委員長からご説明させていただきます。

また、米山月間という事で、本日の例会は、米山奨学委員会がプログラムを担当されます。

昨年までの米山奨学生はマダガスカルから畜大へ留学されていたティアナさんでした。

今年はベトナムからおいでのユヘンドラさんを当クラブでサポート致します。

本日、RI第2500地区米山記念奨学会運営委員会 讃岐委員のご指導の下、オリエンテーションと歓迎の夕べをなかもりで行います。

合わせて、讃岐会員におかれましては、本日の例会プログラムの講師という事で大変ご苦勞様です。会員の皆様は、このプログラムを通して、米山記念奨学会へのご理解を深めて頂きたいと存じます。

■プログラム



「情熱のたすき」

米山記念奨学委員会

讃岐 武史 会員

「ロータリー米山記念奨学事業」

日本で学ぶ外国人留学生を支援する事業で、日本のロータリー独自のプロジェクト。日本のロータリアンがお金を出し合って、運営。事業規模が非常に大きく全国事業のため、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会という組織を設立して、この組織が、奨学事業を担っている。その事務局が東京港区にあり、職員9人が、公益法人としての運営や奨学事業に伴う膨大な事務を請け負っている。事務局は事業を動かしているわけではなく、全地区のガバナーに推薦された評議員・理事の方々によって管理運営がなされている。事業の組織イメージ。専門委員会の説明。奨学生での募集、また、予算や資産の管理、広報の方針などが、この専門委員会と協働される。そして常務理事会、理事会、評議員会で最終的に審議決定される。ここで決まった方針をもとに、全国の世話クラブ、34地区の米山記念奨学委員会、ガバナーの皆さんに実際の運営をしていただくため、橋渡しをしているのが、米山記念奨学会事務局。米山奨学事業は、そもそもいつ、どのような思いで始まったのか。戦争中、日本のロータリークラブは解散しましたが、「水曜クラブ」などと名前を変えて、水面下で集まりを続けていました。

「戦時中も例会を継続したクラブ名」

帯広水曜会・小樽火曜クラブ・札幌職能クラブ・盛岡水曜会・仙台火曜会・東京水曜クラブ・横浜同人会・新潟火曜クラブ・名古屋同心会・京都水曜会・大阪金曜会・西宮火曜会・神戸木曜会・岡山水曜会・今治水曜会・高松職能奉仕会・福岡清和会 計 17RC

東京RCの会員の一人、梅吉氏の眼鏡を作っていた小川守三さん。1950年秋ごろ、亡くなった梅吉さんを偲ぶ会を開いた際の言葉。「戦後のアジア民族の融合のために、何か東京ロータリークラブとして考えたい、などと話し合いました。米山さんを記念し、たたえるためにアジア諸国からの学生を呼ぶことも一案ではないかと提案致しました。」戦後東京RCで最初の会長をつとめ、のちに米山奨学事業を全国組織化するために尽力した小林雅一さん(東京RC)。第60区ガバナーをつとめていた1952年度、ガバナー月信で次のように述べています。「国際ロータリー財団にて、毎年百数十名の学生に対し奨学金を支給して、一カ年間他国に留学させ、非常に好結果を挙げている事は既に熟知の通りであります(中略)日本のロータリアンもせめて日本にいる外国の留学生諸君をときどき慰めてやるような催しはできぬのか…」国際

9月12日例会 会員総数93名(内免除会員4名)

出席
報告

出席者数 52名

欠席者 25名

(名)

メークアップ 16名

93

ロータリーに復帰した日本のロータリアンは、「ロータリー財団奨学金」が良い成果を出していることを知って、自分たちにも同じようなことはできないだろうか…と模索しはじめたのです。こうして1952年11月、東京RCが「米山基金」の構想を発表します。会長は古沢文作さんでした。

1952年ってどんな年？

ある小学校の給食風景より。1952年はそのララ物資が終わったところで、まだまだ貧しい時期。そんななかで発表されたのが「米山基金」でした。米山奨学金設定の主旨という文書が残されています。ここにはこう書かれています。現代風の言葉で言えば、近隣諸国から優秀な学生を招いて日本における勉学を支援することで、国際親善の成果をあげたい、ということです。第1号奨学生は、タイのソムチャードさん。そのソムチャードさんが4年間の勉学を終え、いよいよタイへ帰る日、東京RCの新田義実(にったよしみ)氏(のちに米山奨学会副理事長)が、タイ・バンコクRCへ宛てた手紙の一文をご紹介します。原文は英語です。「彼は4年間、日本で多くのことを学びました。楽しいことばかりではなかったと思いますが、人間は基本的に同じであるとわかってくれたはず。これは、ロータリーにおけるわれわれの信念であり、人は世界の人々と友情を育むことができるのだと、われわれは証明したいのです。——」

そして現在

米山は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大です。2018学年度は852人、累計では世界127の国と地域から2万396人を支援しました。奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりです。累計では中国、韓国、台湾が多いのですが、最近では、ベトナム・モンゴルの留学生が、以前に比べて急増しているのが特筆すべき点です。

第2500地区では、これまでに累計で160人の奨学生をお世話いただいている。その半数は中国の留学生。今年は11人が採用されており、人数は少ないが、国籍バラエティに富む。

寄付について

地区で採用できる奨学生数の算出。奨学生数は寄付で決まるといっても過言ではありません。例えば、会員数が少ない地区は、「寄付金総額」で大きな地区に及ばなくても、個人平均寄付額や、特別寄付をする人の割合が高ければ、その分採用数がアップする可能性があります。一つのクラブで誰か1人がどんと10万円寄付するよりも、全員が5000円ずつ出した方が、有利に働きます。地区別の個人平均寄付額。昨年度の全国平均は16,068円、最も高かったのは、第2590地区(神奈川県横浜市・川崎市)の31,193円。第2500地区は緑の矢印が指している所で、一人平均6682円、全国で34番目でした。クラブが決めた金額を会員数で送金する「普通寄付金」は、全国平均が4,797円、当地区は2,846円。また、個人・法人・クラブからの任意の寄付、「特別寄付金」は、全国平均が11,271円、当地区は3,836円。前のスライドの「個人平均寄付額」は、この普通寄付と特別寄付を合わせた金額。時系列で見ると、昨年度最下位だったとはいえ、その前の年から150万円もアップしています。特に特別寄付のアップが顕著。特別寄付者の割合。全国平均は45.4%、当地区は19.5%でした。トップは第2840地区(群馬)で83%以上のロータリアンが特別寄付をしています。先ほど見たように、この特別寄付者割合は、奨学生採用数にも関わってきます。皆さんのお力で、第2500地区の会員の皆さまが広く、少しずつでもご寄付を重ねてくださいますよう、働きかけをお願いいたします。

回答:まずは設立時の理念を大切に、継承して、ここまでできたということがあります。事業創設時の、ロータリアンたちの思いは、「平和日本」を世界へ、ということでした。その背景には、米山梅吉さんが生前、東南アジアからの留学生に、ひそかに支援をしていたということもあります。1967年の財団法人設立趣意書にも、「この法人は、主としてアジア諸国、またはその他のロータリー所在国の学生または学者に対し、わが国において勉強または研究するための奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的として設立する」と書かれています。日本人の中にも、東日本大震災などで困窮する若者がいることは承知していますが、米山としては、設立字の理念を守っていくということが、2015年の常務理事会でも確認されました。

回答:奨学生の採用基準は、どのような人材育成をしていきたいか、というビジョンに関わるものと思います。この事業は、実は最初から、「優秀」であることが条件でした。ただし昔は、近隣のアジア諸国は皆貧

乏でしたので、結果的には救済であったとも言えます。いったい、どのような学生を採用するか。これについては1999年、2003年と大規模なアンケート調査を行い、フォーラムなどでさまざまな議論を重ねた結果、経済的に困窮しているかどうかにかかわらず、人物と学業面で優れている優秀な留学生を採用したい、優秀な人材の将来性に賭けたい、との声が多くを占めました。優秀でお金に困っている人、それはお金を出す方としては理想的ですが、実際に採用する現場では、見分けることが結構困難です。書類上はいかようにも書けますし、試験会場にボロボロの服で来るケースもあったと聞いています。したがって現在は、経済的な事情は選考の基準とはしていません。

回答：ロータリアンによる内部監査に加えて、毎月、公認会計士による外部監査を行っており、全伝票のチェックを受けています。決算報告はHPで公開しておりますし、計算書類を載せた報告書も、毎年全クラブへ送付しています。

決算数字です。正式承認前の数字。昨年度、普通寄付金と特別寄付金を足した寄付金総額は14億3千万円でした。前年度から約6千万円増加しました。下の支出グラフは、青い部分が奨学金です。奨学金以外に、事業を行ううえで必要な費用が「補助費ほか」というピンクの部分です。ここには、世話クラブ補助費、地区への補助費のほか、事業に直接関わる職員分の給与手当なども実は含まれています。奨学金とこれらを合わせたものを「事業費」と呼んでいて、皆さまからのご寄付は全額、ここに使われていると言えます。支出のシマシマの部分、管理費について、上のシマシマ部分の資産の利子収入で賄うよう努力しているのですが、超低金利政策により、年々利子で「管理費」を賄うことが難しくなっています。全体としては1億円近くの黒字が出ており、この黒字分は、さらに奨学生採用数を増やすことにあててまいります。

米山奨学金が、ほかの奨学金と異なる一番の特長が、世話クラブ・カウンセラー制度です。この事業は、人材育成、種まきの事業です。奨学生と直接関わる方。世話クラブ、そしてカウンセラーの皆さんの手にかかっている。世話クラブになったら、「奨学生はお客様ではない」。クラブによっては、例会時に早く来てもらい、受付を手伝ってもらっているところもあります。カウンセラーになったら、奨学生が自分になつていくからといって独り占めせず、クラブ全員と仲良くなれるよう、橋渡しと雰囲気づくりをお願いします。第2500地区は大変広く、大学がある場所が限られているため、世話クラブ経験率が44.8%（全国平均86.2%）と全国では下から3番目の低さ。半分以上のクラブが、一度も世話クラブをしたことがない。なれない。という環境のなか、お金を出していただいていることに心から感謝申し上げます。

日本で学んだ私費外国人留学生のうち、留学後に印象がアップしたのは46%。半数に満たないです。それ以外は、「留学前から印象が良く、留学後も変化なし」が42%。これはいいとして、「留学前は良かったが、留学後悪くなった」が約1割もいます。米山奨学生になった留学生には、全員が、この赤枠で囲ったように、日本を大好きになって、ロータリーを大好きになって、卒業してもらいたいと思っています。人材育成の成果は何かと問われると結構わずかしく、また長い時間が掛かることもあります。米山記念奨学事業の成果、それはやはり、学友です。

学友からの寄付、遺贈寄付、ガバナー輩出

昭和58年、今から35年前、当時まだこちらの地区が3ヶ所の「250地区」だった時、地区米山奨学委員長をされていた石川巖さん（北見西RC）が、当時米山奨学会の顧問をしていた近藤正夫さん（東京城北RC、1984-85年度G、米山奨学会常務理事・顧問）を東京から招き、講演会を開いたときの資料紹介。この冊子によると、当時の石川委員長はこんなことを話しています。委員長になって一番残念に思ったことは、過去10数年、この250地区というところは米山の寄付に関しては全国26地区中26番目で最下位の状態。この地区には過去にただ一度、帯広畜産大学から1名迎えたことがあるが、それ以来全くない。米山というものを理解しがたい、非常に悪い条件。それをふまえたうえで、普通寄付を何とか全国平均に近い水準まで上げていただきたい、これが、もうただただお願いする一つの目標です。35年前も今も、似たような悩みをきくと皆さま抱えておられます。しかし考えてみれば、第2500地区は、この2人目の1984年から実質始まったといえます。そうすると他の地区に比べてまだ米山の歴史が浅いわけで、ぜひこれからの、伸びしろを、期待させていただきたいと思います。このときの講演録は、読みかえしても、1ページ1ページが勉強、すべてが名言、もう読みごたえしかない一冊となっています。この冊子の中から、私が一番心に響く近藤正夫さんの言葉を紹介します。「事業内容に全く関心がないのに、唯お付き合いかとか、その他別の理由で寄付をしても、それでは心が躍りません。（中略）後からの者には「無関心だが金だけは出すよ」という人も出てきます。それでも大変な難い、よい奉仕なのです。私はこういう方も大歓迎です。ただし無関心の方が少数の場合です。もし大多数がそうになったら、事業は形骸化して行くことになります。事業主体としても、お金だけ寄付していただければ万事OKとは参りません。命が燃え続けなければ、やがてその事業は消えてしまうでしょう」

この米山奨学事業は、1952年から、日本のロータリアン一人一人が、心の中に命を燃やして、続けてきたものです。皆さんの心の中に、今、米山への命は燃えていますか。ぜひその心の中の情熱の炎を将来に渡し、会員のみなさんへと、伝えていただきたいです。どうかよろしくお願い致します。

■会務報告

外崎 裕康 幹事

①帯広RC、10月31日（水）の例会は、休会と致します。

②帯広北RC、夜間例会開催のご案内

日時 10月12日（金）午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

③帯広南RC、移動例会開催のご案内

日時 10月15日（月）午前11時

場所 JA帯広かわにし別府事業所（長芋工場見学）

④帯広北RC、移動例会開催のご案内

日時 10月19日（金）午後0時

場所 北の杜（帯広の森内）

⑤帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 10月25日（木）午後6時30分

場所 北海道ホテル

⑥帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日時 10月30日（火）午後6時30分

場所 幕別パークホテル悠湯館

■委員会報告

・出席報告

出席委員会

10月10日例会の報告 会員総数90名 内免除会員4名 出席者数54名

9月12日の例会 メーキャップを含む出席者数68名 出席率 76.4%

・ニコニコ献金

親睦活動委員会

10月3日分

合田 倫佳 会員

本日、SAAとして例会運営をさせて頂きます合田です。過日の地区大会のゴルフ大会で何と5位入賞でした。でもハンディキャップ24もついていた。ありがとうございました。

高原 淳 会員

本日例会を担当させて頂きます。

井上 洋一 会員

8月の担当例会欠席でした。申し訳ありません。

大類 道雄 会員

この度、9月末日で日本通運株式会社を定年退職いたしました。皆様には2年余りの間、ご指導いただきまして心よりお礼申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

末次 一郎 会員

本日最後の例会出席となります。お世話になりました。

新沼 彰人 会員

ほくでんの新沼です。先月の停電では大変なご不便とご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。未曾有の事態でしたが、皆様のご協力により、計画停電を実施することなく再び電気をお届けできています。ほんとうにありがとうございます。

10月10日分

櫻井 博一 会員

本日の例会を担当します。今月は米山月間です。皆様からのご支援をお願い致します。

仁木 宏一 会員

ハロウィンジャンボ宝くじへの販売協力ありがとうございます。当たりますように！

大野 清徳 会員

帯広神社のお祭り、9月23日～9月25日、3日間晴天に恵まれ、無事終了致しました。ありがとうございました。

水川 達夫 会員

11月3日（土）、ここホテル日航ノースランド帯広において日本FP協会道東支部さんと私ども北海道金融広報委員会共催の金融広報イベントを開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■ご本人誕生日祝い

高橋 勝坦 会員 高橋 猛文 会員 酒井 敬司 会員

渡辺喜代美 会員 高原 淳 会員 長澤 秀行 会員

藤森 裕康 会員 小水 基弘 会員 高橋 久志 会員

末次 一郎 会員 高木 剛 会員

■配偶者様お誕生日祝い

後藤 裕弘 会員 高橋 猛文 会員 村松 一樹 会員

仁木 宏一 会員

■結婚記念日お祝い

橘 精三 会員 眞鍋 智紀 会員 高橋 猛文 会員

高原 淳 会員 大和田三朗 会員 伊藤 秀敏 会員

高道 伸 会員 高橋 久志 会員 石川 裕也 会員

水川 達生 会員 矢野 雅之 会員

■次週プログラム予定

10月17日（水）「人口減少におけるサステナブルな街づくりとは」
野村 文吾 委員長（社会奉仕委員会）



↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ～ 13:30

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 大江 平・副委員長 / 大和田三朗・横山 聡

委員 / 橋枝 篤志・及川ゆかり・村松 一樹・高木 剛

●ホームページアドレス / <http://www.obihiro-rc.jp>